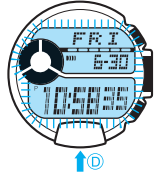


## ライト点灯機能について

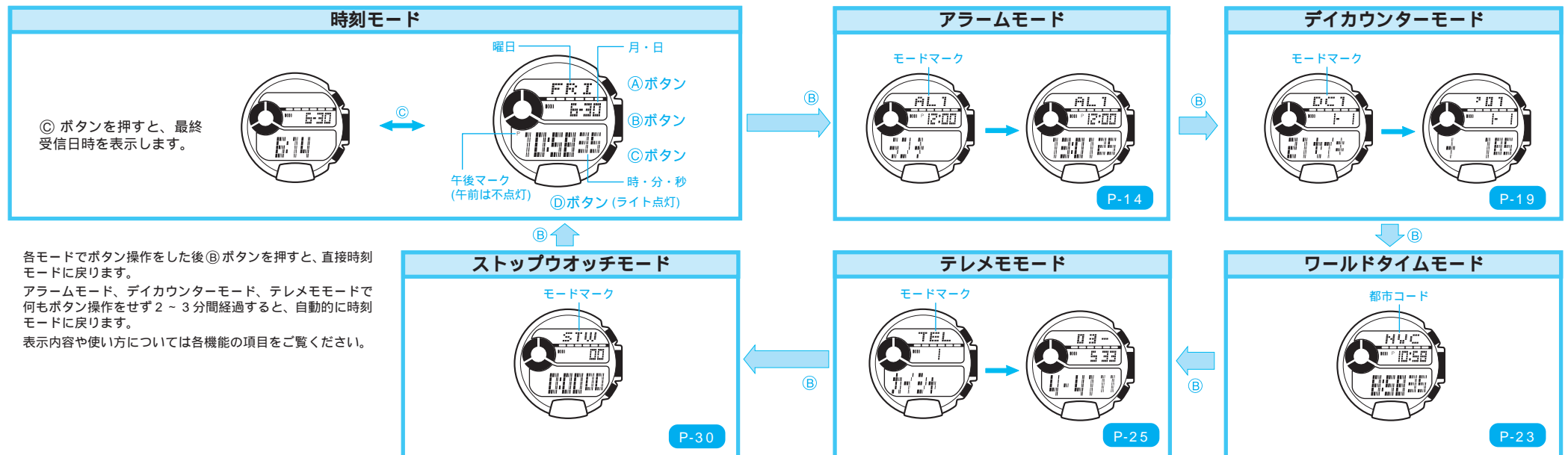
どのモードでも ④ ボタンを押すと文字板が約 2 秒間発光し、暗いところでも表示を見ることができます。



### 注意事項

直射日光下では発光が見えにくくなります。  
 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。  
 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

## 操作のしくみと表示の見方 ③ ボタンを押すごとにモードが切り替わります。



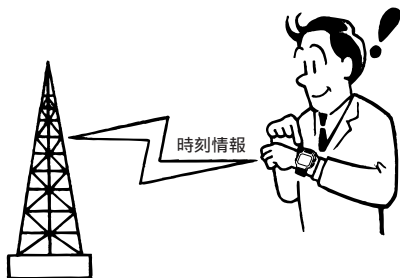
## 電波時計について

### 電波時計とは

正確な時刻情報（日本標準時）をのせた標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。本機は長波標準電波 JJY（60kHz）を受信します。

#### 標準時とは

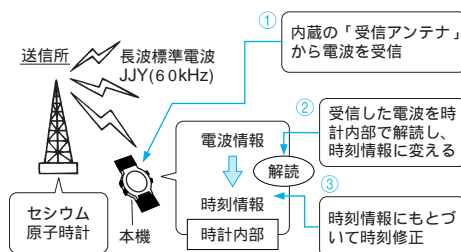
日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。



### 標準電波

標準電波は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しております。長波標準電波は佐賀県と福岡県の境にあるはがね山の標準電波送信所から送信されます。

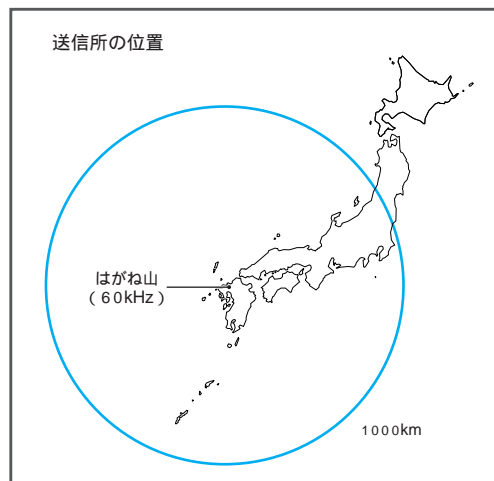
この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。



### 電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。

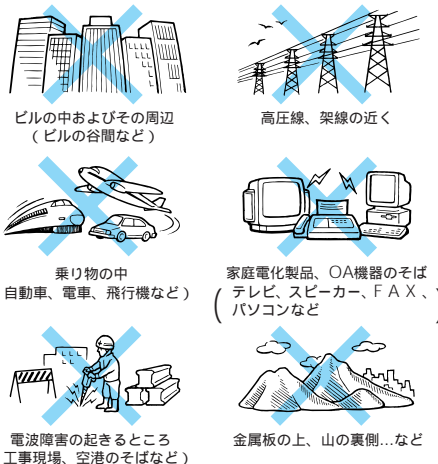
ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。また、受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。



### 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

### 受信方法について

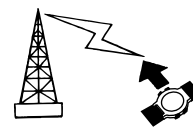
受信方法には、以下の2種類があります。

- ① 自動受信（午前2・4・6時に自動受信します）
- ② 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

#### 受信前の準備

受信しやすくするために、本機を腕からはずし、時計左部（9時位置）のアンテナを電波送信所方向に向けます。



時計左部が電波送信所方向（9ページ参照）に対してまっすぐ向いていないと、受信しにくくなります。

受信中、時計を動かさないようにしてください。

#### 受信時間は？

受信時間はおよそ4～11分です。

#### 受信インジケータ

受信中は受信状態によってインジケータが変化します。安定状態なるべく長く保てる場所で受信してください。



受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

受信インジケータは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

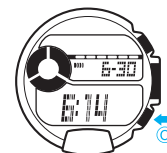
#### 受信日時の確認

時刻モードのとき

- ◎ ボタンを押します

受信により最後に修正した日時を表示します。

時刻表示に戻すには、もう一度◎ボタンを押します。

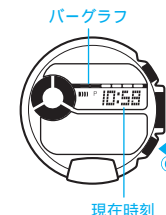


### 手動受信

時刻モードのとき

- ◎ ボタンを約2秒間押し続けます

確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は、パーグラフが点灯/不点灯します。



受信を中止するときは

- ◎ ボタンを押します

受信中は◎ボタン以外の操作はできません。

受信が成功すると成功した時点で受信を終了し、時刻を修正します。受信マーク“◎”が点灯します。

受信が失敗すると時刻修正は行なわれず、手動受信のときは“ERR”を表示します。

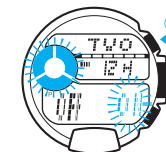
### 自動受信のオン/オフ

#### 1. セット状態にする

時刻モードのとき

- Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

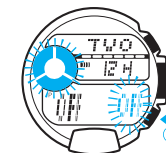
ONまたはOFFが点滅します。



#### 2. 切り替える

- ◎ ボタンを押します

◎ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



#### 3. 切り替えを終了する

- Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

自動受信のオン/オフで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

## 電波時計について

### 電波タイプの切り替え

日本においてサマータイムが実施されたときに、標準電波のコード変更が行なわれることがあります。本機は、コード変更が行なわれたときでも対応できるよう、2種類のタイプを切り替えることができます。

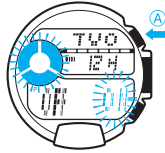
コード変更の内容によっては、電波タイプを切り替えても正しく修正されないこともあります。

#### 1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

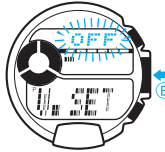
自動受信の切り替えになります。



#### 2. 電波タイプ切り替えにする

Ⓑ ボタンを10回押します

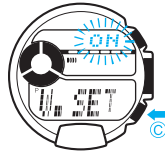
ONまたはOFFが点滅します。



#### 3. 切り替える

Ⓒ ボタンを約2秒間押し続けます

Ⓒ ボタンを押し続けるごとに、オンとオフが切り替わります。



#### 4. 切り替えを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

電波タイプの切り替えで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

サマータイムが実施されていないときは、電波タイプを「OFF」のままお使いください。サマータイムが実施されたときの電波タイプについては、カシオテクノ・サービスステーション（本誌裏面に記載）にお問い合わせください。

### 受信に関するご注意

自動受信は時刻モードおよびワールドタイムモードのみ行なわれます。

自動受信を行なう午前2時・4時・6時から15分程度は、ボタン操作を行なわないでください。

受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。

ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行ってください。

本機は日本で送信されている電波に合わせて設定されていますので、日本国外および日本の電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

電波受信を行わないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。

極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

受信中はアラームなどの電子音は鳴りません。

本機のカレンダー機能は2039年までです。2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

### こんなときには

#### 手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。  
処置：手動受信は時刻モードで行なってください。

#### 「自動受信ON」に設定しているのに「ON」マークが消えている

原因：“ON”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。

一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません。（毎日午前3時に消えます）

自動受信時に時刻モードおよびワールドタイムモード以外になっていた。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行ってください。

「受信成功」しやすい環境で使用してください。

自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。

また、手動で時刻修正をすると、“ON”マークは消えます。

#### 電波受信をしても時刻が合わない

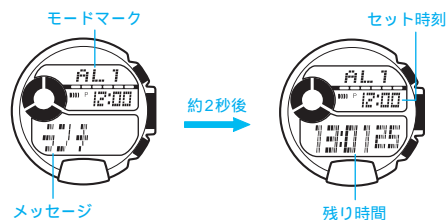
原因：サマータイム切り替えがONになっているか、ホームタイム都市が「TYO」（東京）以外になっていませんか。

処置：1時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイム切り替えがONになっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市設定が「TYO」以外になっている可能性があります。31ページからの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

## アラーム・時報の使い方

アラームはメッセージ(カタカナ8文字)と時刻(時・分)がセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。また、アラームモードではセット時刻までの残り時間を表示します。

アラームは3本あり、いずれも同じ使い方ができます。時報は毎正時(00分)にビピッと電子音が鳴ります。

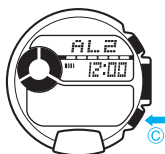


メッセージが7文字以上のときは、最初の6文字を表示後、切り替えて残り2文字を表示します。

### アラームのセット

#### 1. アラームを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



#### 2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

文字部1桁目が点滅します。アラームONマークが点灯します。



#### 3. メッセージを入力する

Ⓒ ボタンを押します

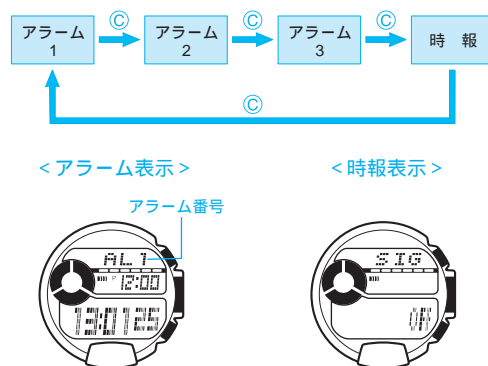
Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。押し続けると早送りができます。

Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。



### セット時刻や残り時間を見る

アラームモードでⒸボタンを押すごとに、以下の順に表示されます。



アラーム1にはあらかじめ「ランチP12:00」がセットされています。このデータは修正することもできます。

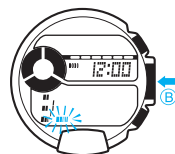
#### 入力文字について

入力文字はスペース カタカナ(ア～ン ア～オ ッ ヤ～ヨ ) アルファベット(A～Z) 数字(0～9) 記号(- . / :)の順に入力できます。カタカナの早送りは、ア段の早送り(ア カ サ タ...)になります。

#### 4. 桁を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

押すごとに入力箇所が1桁ずつ右に移動します。押し続けると早送りができます。

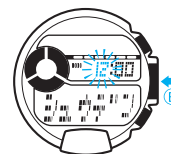


Ⓑ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓒ ボタンを押して入力する操作を繰り返してメッセージを入力します。

#### 5. 「時」のセットに切り替える

Ⓑ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押して8文字分移動させると、「時」が点滅します。



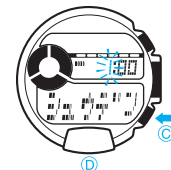
#### 6. 「時」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。押し続けると早送りができます。

「時」のセットのとき午前/午後にご注意ください。基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制表示となります。

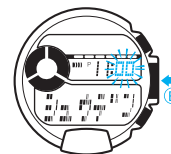
Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。



#### 7. 「分」のセットに切り替える

Ⓑ ボタンを押します

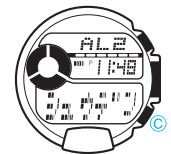
「分」が点滅します。



### アラームの修正

#### 1. アラームを選ぶ

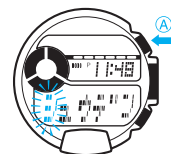
Ⓒ ボタンを押します



#### 2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

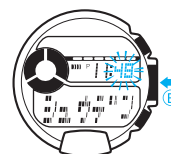
文字部1桁目が点滅します。



#### 3. 修正箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。押し続けると早送りができます。

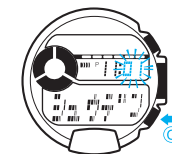


#### 8. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。押し続けると早送りができます。

Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。



#### 9. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

アラームのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

鳴っている電子音を止めるには  
いずれかのボタンを押します。

#### デモアラーム

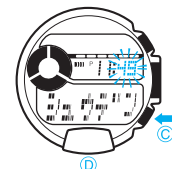
アラームモードでⒸボタンを押している間、電子音が鳴ります。

#### 4. メッセージまたは時刻を修正する

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。押し続けると早送りができます。

Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。



Ⓑ ボタンを押して修正箇所を移動させ、Ⓒ ボタンを押して修正する操作を繰り返してメッセージおよび時刻を修正します。

#### 5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

アラームの修正で表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

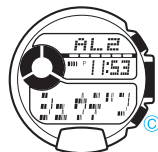


## アラーム・時報の使い方

### アラーム・時報のオン/オフ

#### 1. アラームを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

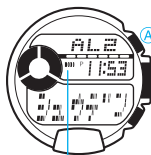


#### 2. 切り替える

Ⓐ ボタンを押します

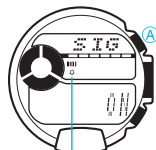
押すごとにアラームまたは時報のオンとオフが切り替わります。

<アラーム>



アラームONマーク

<時報>



時報ONマーク

## デイクOUNTER機能の使い方

デイクOUNTER機能は、タイトル(8文字)と年月日を5件セットでき、今日とセット日との差を表示します。

未来の予定日などを設定

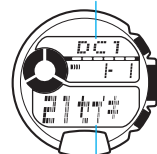
⇒ 今日からの残日数を+(プラス)で表示

過去の記念日などを設定

⇒ 今日までの経過日数を-(マイナス)で表示

<タイトル表示>

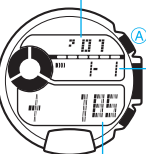
モードマーク  
(デイクOUNTER-No.)



タイトル

<日数表示>

年 月 日



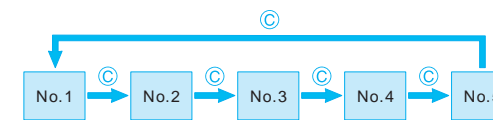
今日との差

約2秒後

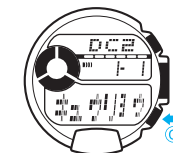
タイトルが7文字以上のときは、最初の6文字を表示後、切り替えて残り2文字を表示します。  
日数表示のときにⒶボタンを押すと、タイトルを約2秒間表示します。

### セット日や日数を見る

デイクOUNTERモードでⒸボタンを押すごとに以下の順に表示されます。



デイクOUNTER No. を選ぶと約2秒後にセット日と今日との差を表示します。



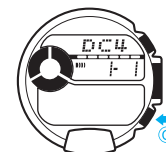
3つのデイクOUNTERの中には、あらかじめ下記のデータがセットされています。

- No.1 : 21世紀(21世紀)
  - No.2 : キュウリョウビ(給料日)
  - No.3 : タンジョウビ(誕生日)
- このデータは修正することもできます。

### デイクOUNTERのセット

#### 1. デイクOUNTER No. を選ぶ

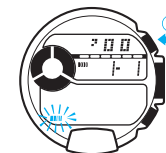
Ⓒ ボタンを押します



#### 2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

文字部1桁目が点滅します。



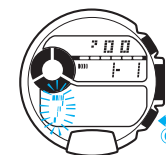
#### 3. メッセージを入力する

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

押し続けると早送りができます。

ⓐ ボタンを約2秒間押し続けると、タイトルが消去され、セット日は今日になります。



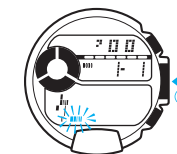
#### 入力文字について

入力文字はスペース カタカナ(ア～ン ア～オ ッ ヤ～ヨ ) アルファベット(A～Z) 数字(0～9) 記号(- . / :)の順に入力できます。  
カタカナの早送りは、ア段の早送り(ア カ サ タ...)になります。

#### 4. 桁を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

押すごとに入力箇所が1桁ずつ右に移動します。  
押し続けると早送りができます。



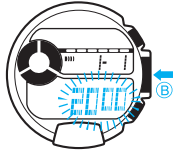
Ⓑ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓒ ボタンを押して入力する操作を繰り返してタイトルを入力します。

## デイカウンター機能の使い方

### 5. 「年」のセットに切り替える

Ⓑ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押して8文字分移動させると、「年」が点滅します。



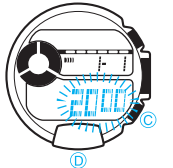
### 6. 「年」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押すごとに1つずつ進みます。

押し続けると早送りができます。

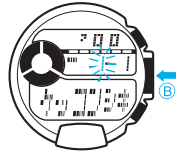
Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けると、タイトルが消去され、セット日は今日になります。



### 7. 「月」のセットに切り替える

Ⓑ ボタンを押します

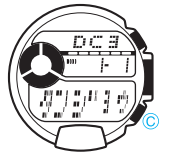
「月」が点滅します。



## デイカウンターの修正

### 1. デイカウンター No. を選ぶ

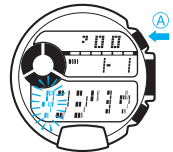
Ⓒ ボタンを押します



### 2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

文字部1桁目が点滅します。

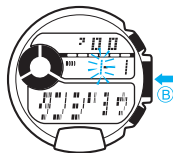


### 3. 修正箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。

押し続けると早送りができます。



Ⓑ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓒ ボタンを押して入力する操作を繰り返して年・月・日をセットします。

年月日は西暦で1940年1月1日～2039年12月31日までセットできます。

### 8. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

デイカウンターのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、デイカウンター表示に戻ります。

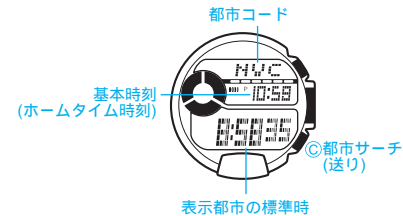
## ワールドタイムの使い方

ワールドタイムは世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができる機能です。

### 都市のサーチ

ワールドタイムモードに切り替えると、前回のモードで最後に見た都市が表示されます。以後、Ⓒ ボタンを押すごとに、都市コードとその都市の標準時を表示します。

Ⓒ ボタンは押し続けると早送りができます。

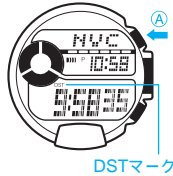


### サマータイムの設定 / 解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

“DST”マークが点灯します。



サマータイムを解除するときも、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます。

選択都市の標準時が違っているときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。セットについては31ページをご覧ください。

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言われ、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

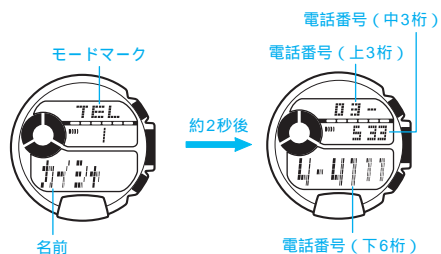
## ワールドタイム都市一覧表

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
- - -		- 11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+ 2	アテネ、ヘルシンキ、 ペイルート
HNL	ホノルル	- 10	ババエテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	- 9	ノーム	JED	ジッダ	+ 3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	- 8	サンフランシスコ、 ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+ 3.5	
DEN	デンバー	- 7	エルバソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+ 4	アブダビ
CHI	シカゴ	- 6	ヒューストン、 メキシコシティ	KBL	カブール	+ 4.5	
NYC	ニューヨーク	- 5	モンリオール、 マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+ 5	
CCS	カラカス	- 4	サンティアゴ	DEL	デリー	+ 5.5	
RIO	リオデジャネイロ	- 3	サンパウロ、 ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+ 6	
- - -		- 2		RGN	ヤンゴン	+ 6.5	
- - -		- 1	アゾレス諸島	BKK	バンコク	+ 7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		± 0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン (香港)	+ 8	シンガポール、 クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	± 0	ダブリン	TYO	東京	+ 9	ソウル、平壤
PAR	パリ	+ 1	ローマ、マドリッド、 フランクフルト	ADL	アデレード	+ 9.5	
				SYD	シドニー	+ 10	グアム
				NOU	ヌーメア	+ 11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+ 12	クライストチャーチ

この表は2001年6月現在作成のもので、この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

## テレメモの使い方

テレメモとは名前 8 文字、電話番号 12 桁を最大 20 件まで記憶できる機能です。  
データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探するときも大変便利です。

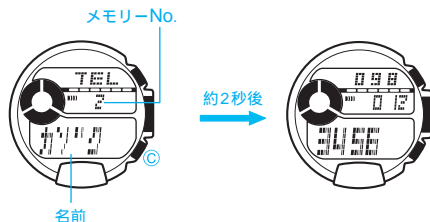


名前が 7 文字以上のときは、最初の 6 文字を表示後、切り替えて残り 2 文字を表示します。

### データのサーチ

テレメモモードで **ⓐ** ボタンを押すごとに、名前順に表示されます。

**ⓐ** ボタンは押し続けると早送りができます。メモリー No. はメモリーされている順番で、下記表示では 2 番目にメモリーされていることを表します。



名前を選ぶと約 2 秒後に電話番号を表示します。以後、**Ⓐ** ボタンを押すごとに名前と電話番号の表示が切り替わります。

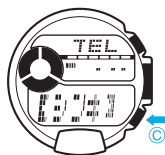
テレメモにはあらかじめ「カイシャ」、「カソク」、「ジタク」(名前部のみ) がセットされています。  
このデータは修正および消去することもできます。

### データの入力

#### 1. 新規ページを選ぶ

**Ⓒ** ボタンを押します

新規ページは入力してあるデータの最後に表示されます。

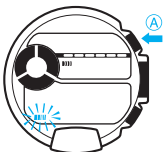


データが 20 件すべて入力してあるときは、新規ページのかわりに「FULL」と表示されます。  
このときは、29 ページの「データを消去する」を参照して、不要なデータを消してください。

#### 2. セット状態にする

**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。



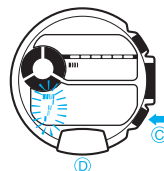
#### 3. 名前を入力する

**Ⓒ** ボタンを押します

**Ⓒ** ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

押し続けると早送りができます。

**Ⓓ** ボタンを約 2 秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。



#### 入力文字について

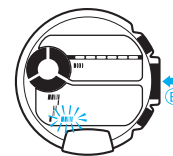
入力文字はスペース カタカナ(ア～ン ア～オ ッ ヤ～ョ ) アルファベット(A～Z) 数字(0～9) 記号(- . / : )の順に入力できます。  
カタカナの早送りは、ア段の早送り(ア カ サ タ...)になります。

#### 4. 桁を選ぶ

**Ⓑ** ボタンを押します

押すごとに入力箇所が 1 桁ずつ右に移動します。

押し続けると早送りができます。

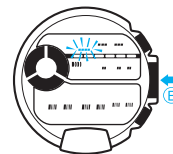


**Ⓑ** ボタンを押して入力箇所を移動させ、**Ⓒ** ボタンを押して入力する操作を繰り返して名前を入力します。

#### 5. 電話番号の入力に切り替える

**Ⓑ** ボタンを押します

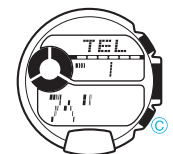
**Ⓑ** ボタンを押して 8 文字分移動させると、電話番号部 1 桁目が点滅します。



### データを修正する

#### 1. 修正データを選ぶ

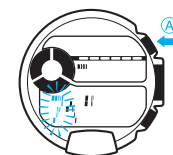
**Ⓒ** ボタンを押します



#### 2. セット状態にする

**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。



#### 3. 修正箇所を選ぶ

**Ⓑ** ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が 1 桁ずつ右に移動します。

押し続けると早送りができます。



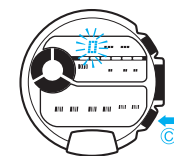
#### 6. 電話番号をセットする

**Ⓒ** ボタンを押します

**Ⓒ** ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

押し続けると早送りができます。

**Ⓓ** ボタンを約 2 秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。



電話番号も同様に **Ⓑ** ボタンを押して入力箇所を移動させ、**Ⓒ** ボタンを押して入力する操作を繰り返して入力します。

#### 7. 入力を終了する

**Ⓐ** ボタンを押します

名前順に並び替えが行なわれ、点滅が止まります。続けて入力するときは、手順 1 からを繰り返します。

テレメモの入力で表示を点滅させたまま 2 ~ 3 分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

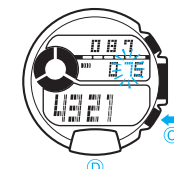
#### 4. 修正する

**Ⓒ** ボタンを押します

**Ⓒ** ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

押し続けると早送りができます。

**Ⓓ** ボタンを約 2 秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。



**Ⓑ** ボタンを押して修正箇所を移動させ、**Ⓒ** ボタンを押して修正する操作を繰り返して名前および電話番号を修正します。

#### 5. 修正を終了する

**Ⓐ** ボタンを押します

点滅が止まります。

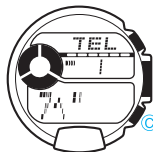
テレメモの修正で表示を点滅させたまま 2 ~ 3 分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

## テレメモの使い方

### データを消去する

#### 1. 消去データを選ぶ

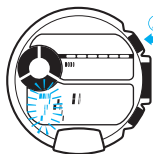
◎ ボタンを押します



#### 2. セット状態にする

▲ ボタンを約2秒間押し続けます

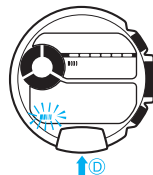
名前部 1 桁目が点滅します。



#### 3. データを消去する

◎ ボタンを約2秒間押し続けます

名前と電話番号が同時に消去されます。  
消去後、新たなデータが入力できます。



#### 4. 消去を終了する

▲ ボタンを押します

点滅が止まります。

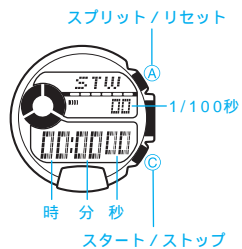
テレメモの消去で表示を点滅させたまま 2 ~ 3 分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

## ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測でき、以後、自動的に 0 に戻って計測を続けます。

### 計測のしかた

◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。  
計測がストップしているときに ▲ ボタンを押すと、0 時間 00 分 00 秒 00 (リセット表示) になります。  
計測中に ▲ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム(途中経過時間)計測となります。



### 通常の計測

◎ → ◎ → ▲  
スタート ストップ リセット

< 積算計測 >

ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに ◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### スプリットタイム計測

◎ → ▲ → ▲ → ◎ → ▲  
スタート スプリット計測 スプリット解除 ストップ リセット

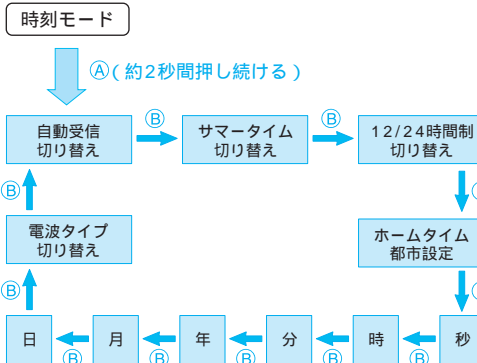
### 1 着・2 着同時計測

◎ → ▲ → ◎ → ▲ → ▲  
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット (1着タイム表示)

## ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等をセットします。  
なお、時刻とカレンダーは、「自動受信オン」にしておくと自動的に正しく修正されますので、通常は修正する必要ありません。電波受信ができないときや、「自動受信オフ」にしてあるときなどは、ここで説明する操作にしたがって合わせてください。

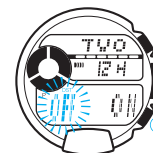
### セット内容



時刻モードの表示に戻すには、もう一度 ▲ ボタンを押します。  
電波受信切り替えについては 11 ページを、電波タイプ切り替えについては 12 ページをご覧ください。

#### 3. セットする

◎ ボタンを押します



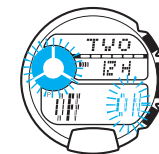
◎ ボタンを押してセットしたい箇所を移動させ、◎ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。  
サマータイム切り替えは、◎ ボタンを押すごとに ON と OFF が切り替わります。  
12/24 時間制切り替えは、◎ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。  
ホームタイム都市設定は、24 ページの表の順に ◎ ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。  
秒合わせは、◎ ボタンを押すと「秒」が 00 ~ 29 秒のときは切り捨てられ、30 ~ 59 秒のときは 1 分繰り上がって「00 秒」からスタートします。  
「時」のセットのとき、午前(A) / 午後(P)および 24 時間制にご注意ください。  
「年月日」は西暦で 2000 年 1 月 1 日 ~ 2039 年 12 月 31 日までセットできます。  
曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

### セットのしかた

#### 1. セット状態にする 時刻モードのとき

▲ ボタンを約2秒間押し続けます

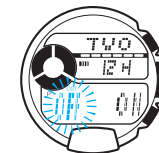
ON または OFF が点滅します。



#### 2. 切り替える

◎ ボタンを押します

◎ ボタンを押すごとに、セット箇所(点滅箇所)が左図の順に移動します。  
押し続けると早送りができます。



#### 4. セットを終了する

▲ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

ホームタイムデータのセットで表示を点滅させたまま 2 ~ 3 分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。  
サマータイムの採用時期は都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。